



## Well-being を目指して

### 学校教育目標の実現に向けて

北部中は、学校教育目標「人とつながる 社会とつながる 未来とつながる ESD Well-being」の実現に向けて、年間を通して様々な取り組みを行ってきました。

学校教育目標の「つながる」とは、学習指導要領で重要視されている「開かれた教育課程」の実現を意味し、「他者とつながった対話・協働的な学び」「社会とつながって広がりや深まりのある学び」「キャリア教育の視点から自分の将来を見通し、生涯に渡る学び」の実現を意味します。

「ESD」とは、「持続可能な社会の担い手となる教育」として、北部SDGsの活動でわかる通り、北部7つの力を活用しながら、教科横断的な視点で課題を解決する学びを意味します。

そして、「Well-being」とは、世界保健機関(WHO)憲章に記されているもので、自分・仲間とのつながりの中で継続した良い状態を共に創っていくことを意味します。また、Well-beingを目指している学校は、笑顔で楽しい気持ちであふれていると言われています。

3学期はWell-beingの実現を目指し、2年生がChat GPT(生成AI)を授業等で活用、1年生が台湾高雄市の中山国民中学校との交流に取り組みました。

みんなで同じ方向を向いて実践を積み重ねることが成長のポイントであることを感じます。

令和5年度の学校教育活動へ関係の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。



## 北部SDGs大賞

後期の北部SDGsはコンテスト形式で取り組みを行いました。各委員会コースの中で縦割り班を編成し、身の回りの課題を解決(改善)するための探究的な学びのプレゼン発表に対して、3.21(木)に優秀班の表彰及び発表会を行いました。

### 〈審査結果〉

【北部SDGs大賞(グランプリ)】

厚生 ぬりぬりペンキチーム「中庭ベンチの補修」

【準グランプリ賞】

図書 絵本プレゼントチーム「保育園に絵本寄贈」

【グッドナナライ賞】

給食 Smile Eat チーム「飲食店の食品ロス解消」

グランプリ班代表の堀野なな美さん(2-5)は、「みんながきれいなベンチに座って安らいでくれるとうれしい。」と話してくれました。

北部SDGs全班的取組がより良い環境づくりにつながることを期待しています。

## 校内研修改革(教職員も学びを充実)



北部中生の学びの充実を図るために、どのような教育課程が必要か、授業はどうあるべきかの教職員研究「校内研修改革からカリマネにチャレンジ」に対して、3.18(月)に、

日本教育弘済会から奨励賞(熊本県1校)を受賞しました。今後とも生徒・教職員・保護者・地域が一体となってより良い学びを推進し、魅力的な北部中づくりができるように取り組んで参ります。

人とつながる 社会とつながる 未来とつながる ESD Well-being

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

北部7つの力 (課題発見・解決のために必要な力)

批判的思考力	多面的・総合的思考力
キャリアプランニング力	コミュニケーション力
情報活用能力	レジリエンス(柔軟性)
シチズンシップ(市民性)	

多面的・総合的思考力  
批判的思考力  
キャリアプランニング力  
情報活用能力

シチズンシップ(市民性)  
コミュニケーション力  
レジリエンス(柔軟性)

北部七星